



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
アジア区主題 "The Power of One" 「一つとなる力」
西日本区主題 「すべての命を大切に」 --- いのち・平和・環境 ---
京都部主題 豊かな心 熱き思い --- 555実現に向けて ---
メネット主題 「メネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かちあいましょ

クラブ主題
**語り合おう
ワイズで**
思いやり 笑顔

強く、また雄々しくあれ。恐れてはならない。彼らのゆえにうろたえてはならない。あなたの神、主は、あなたと共に歩まれる。あなたを見放すことも、見捨てられることもない。

聖句

申命記 第31章6節



「奉仕クラブとしてのワイズメンズクラブの特性」

京都YMCA学園理事長 亀井 剛ワイズ

ワイズメンズクラブで何ですかと聴かれたとき私たちはどのように答えているだろうか。「ロータリークラブやライオンズクラブのような奉仕クラブだけど、その奉仕は主にYMCAを通して（あるいはYMCAに対して）行っている。そのことを通して人格を磨いている。」という風に説明している人は多い。わたしもそのように言っている。しかし、何かしらの説明でいいのかなという思いが頭をよぎる。「奉仕」という言葉に対してである。

ロータリークラブの会員でもあるウエストクラブの森田恵三氏はロータリークラブについて次のように紹介しておられる。「善良な成人であって、職業上良い世評を受けている者を会員としている。そして「他人のことを思いやり他人を助けること」を基本として、会員一人ひとりがクラブ活動の中で奉仕を学び、これを行動実践として、自分の職業を通して地域社会のために役立てる」（ワイズ読本「ワイズメンズクラブの特質」より）。慎重な言い回しながらこの場合の「奉仕」という言葉に、社会的に成功を収めている者による社会的弱者への支援というようなニュアンスを感じる。私はこのことを否定するつもりはなく、ゆとりのある者のあるべき姿勢として尊い。しかし、果たしてワイズはその意味での「奉仕」を目的としているクラブなのだろうか。

ワイズメンズクラブ創始者のポール・W・アレキサンダーは会員の資格について、「自己犠牲に基づく人類愛と表現される理想主義という人格」とであると力説する。この場合の「自己犠牲に基づく人類愛」は上記の「奉仕」とは明らかに意味合いが異なる。「自己犠牲に基づく人類愛」すなわち、「自分に必要な事（物）でも分け与えあって共に生きる社会を構築する」という理想を持つということだ。そしてこの理念こそが「YMCAの精神性」といわれるものであろう。ワイズメンズクラブは他の奉仕クラブと同じ形をとっているが、ここが他の奉仕クラブの「奉仕」と違うところではないかと思う。

入会間もないメンバーに限らず、一部のワイズメンから「私はワイズに入会したのであってYMCAに入ったのではない。だから、YMCAには関わりたくない」という言葉を聞くことがある。もし、そのメンバーたちが他の奉仕クラブのような「奉仕」を求めているのなら、ワイズメンズクラブは十分に応え得ないだろう。ワイズメンズクラブは世俗的な意味ではクラブも会員もマイナーであり続けるかもしれないが、そこには深く豊かな心の世界が展開する。

会長 金丸太一郎
副会長 三村 良行
書記 古川 安雄
会計 小泉 洋

4月例会案内

4日(日)
ファミリー例会
貸切観光バスで、なばなの里と長島温泉へ、綺麗な花を愛でて、美味しい料理をいただき、良き湯に浸かって体も心もリフレッシュ。

21日(水)
通常例会
御所人形師 島田耕園氏をお迎えして、古き都に伝わる伝統工芸の技を学びましょう。

例会出席	
3月第1例会	14名
3月第2例会	12名
在籍者数	16名
出席率	93.8%
前回出席修正	

BFポイント	
切手	0pt
現金	0円
累計	28,050円

ニコニコ	
3月第1例会	円
3月第2例会	5,000円
累計	79,000円

ファンド	
廣井杯	5,000円
累計	307,965円

強調
月間

YMCAサービス・ASF

ASFの意義を再確認し、YMCAサービスを徹底しよう!

只野 準一 Yサ・ユース事業主任



今期、合同例会をするクラブとして、みやびと同じ、毎月奇数週の水曜日を例会日としているクラブはいくつかあるのですが、そんな中から、地下鉄烏丸線で結ばれているプリンスクラブの金丸会長に、合同例会の話を持ちかけたところ、受け入れていただき実現できたことに感謝申し上げます。合同例会といってもホームのクラブは自分のクラブのスタイルで運営していただき、ビジターはお客さんで、日頃と違った事を見て感じてもらえたら、今後のクラブ活動に生きるのではという狙いで、お互い1回ずつ行き来しなければなりません。そんなことで、年間計画が立てられているにもかかわらず、2回の内容変更にて会長・ドライバー委員長の西村ワイズにはお世話になりました。10月にお邪魔した時は、プリンスクラブのメンバーの集合時間の早さに驚きました。30分前には全員集合されていました。また、ゲストで演奏されていた方が、みやびのメンバーの知り合いであったりして世間の狭さ、奇妙な縁を感じさせられました。3月のみやびの例会では、メンバー候補が2名来てくれた。プリンスにはEMC主任の廣井さんがおられる。ここで主任からお言葉をいただいたことも縁ですね。本当タイミングがいいと思います。(入会式ならばなお良かった)29名での例会、やっぱりこれぐらいいいですね。演壇に立って挨拶してもやっぱり違います、気持ちいいですね。さて、プリンスのみなさんはこの合同例会どの様に感じられましたか?感想を聞かせていただき次に繋がればと思います。2次会のチチミの王様にも岡西メネットの参加をはじめ多数の参加で楽しく時間を過ごせたこと、プリンスの皆様に感謝申し上げます。



3月第1例会は、10月に来ていただいたみやびクラブさんの例会にお邪魔しての合同例会でした。我がクラブから14名の参加で、全29名の例会となり、内2名のメンバー候補の方が参加されました。やっぱり、例会はメンバーが多い方がいいですね……。

ゲストスピーカーに、松永信也氏をお迎えして「見えないを伝えたい」をテーマに講演がありました。松永氏は、10歳の時に難病網膜色素変性症と診断され、12年前に失明され、京都ライトハウスで訓練を受け、今は福祉専門学校で非常勤され各地で講演をされたり、小学校では授業に参加され視覚障害者への理解に努められています。視覚障害者は、全盲は1割で、9割が弱視だそうです。そして、視覚障害者なる方の殆どが中年になってからが多く、糖尿病や緑内障が原因だそうです。情報の8割が目からで、目が見えなくなると、バランスが悪くなり、移動が大変だそうです。もし、視覚障害者の方を見たらどんどん声を掛けてあげて下さいとの事です。一緒に移動する時は、まず相手と手の平を合わせて、肘を持ってもらい移動してくださいとの事でした。この講演で、少しでも視覚障害者の気持ちが理解出来て大変良い勉強になりました。

例会が終わってから場所を移し懇親会が有り、お酒も入り大いに盛り上がりました。やはり、例会は1杯……ですね? 中原会長、楽しい例会・懇親会有り難うございました。是からも宜しくお願いします。

次期会長・主査研修会に参加して

2010年3月13日~14日
森 伸二郎



2回目の次期会長・主査研修会。1回目は今から11年前、六甲の研修センターで西日本区アカデミー委員会による運営、そして今回は新大阪のホテルで西日本区LD委員会による運営。内容もレクチャー主体の受け身型からディスカッションを交えての参加型へと移っていた。「部やクラブはこう在るべきだ」から「一緒に考えていこうよ」へと変わってきたように思えた。その分、受けていて気持ちがとても楽であった。2回目ということもあっただろうし、また20年もワイズをやっている内に、西日本区の中に握手を交わすメンバーがいっぱい増えたということもある。初めて会う人ばかりの中だと緊張するけど、今回は緊張することが無かった。気持ちに余裕を持って受講できたので、その分吸収できた事も多くあった様に思える。10年に一度ぐらいは、このような研修を受けて、ワイズに対する考え方をリフレッシュすることも必要だなと感じた研修会でした。

東京サンライズクラブからの報告

3月の例会はお散歩例会でした。昨年は寒い中、プリンスの皆さんと歩きましたが、今回は晴天に恵まれ、のんびりと旧東海道の品川宿を散策しました。お昼に品川駅に集合し宿場外れの天數羅屋で昼食。いつもは蕎麦屋なのですが、古びた店で、女将が50年以上揚げていているという事に引かれて訪れましたが、店は新築され、若女将に代替わりしていて、値段も上がり、チョット期待はずれでした。昔のままの品川の裏路地を巡ったり、品川神社のお富士さんからの眺望を楽しんだり。桜が早かったら花見でもと考えていましたが、間に合わず、ぶらぶらと午後の散歩を楽しみ、大井町の駅前まで打ち上げをして解散となりました。



3月第2例会は、2月第2例会に続きメンバー増のために何をすればよいかを話し合うEMCアワーでした。金丸会長は研修のため欠席で、三村副会長から今期に入って退会者が多いうえ入会式はなく、何とか会長の花道のためにも入会式ができるようがんばりたいとの力強い開会あいさつで始まりました。

結論はないですが無理やり独断と偏見でまとめます。最近の退会者は話の輪に入りにくく費用もかさむなどつまらないとの思いだったとの問題提起があり、クラブの軸になるみんなと一緒に取り組める事業が見当たらない問題点も浮き彫りになりました。新入会者がなじみやすいよう歓迎会の場をきちんと持ったり、本人自身が打ち解けるようにするべきだがフォローはもちろん必要である。費用的な問題では、オリエンテーションで説明しており任意の寄付は個人の意味で行うもので、買ってもらいたい物品は入会金に入れるなど負担を感じさせない方策も考えられる。クラブの親睦が図れていて、いろいろな事業に協力する中で、一人一人にきらきら光る魅力があれば、離れられないクラブになっていく。など書ききれません。今後のために大切なものを気持ちの中に何か持てた例会でした。



EMCアワーとして、プリンスクラブの今後の方向やメンバーが何故増えずに減少するのか？メンバー増強を掲げ、入会頂いても何故、短期間で退会してしまわれるのか？今回の皆様の意見を総合して主なポイントは、設立25周年を迎え比較的伝統の有るクラブとしては、今更と思われる事も含め時間の制約のある中、参加者は誠実に討論致しました。同じ京都市内に於いて、毎年着実にメンバー数を増やしているクラブが有るのですから、単に景気が悪いから、仕事が忙しくなったから退会者が出るというのは本心なのか？全てのケースでは無いが、入会から入会後の本人の意思確認も含めて一連のフォローを怠っていたのでは無いか。その他、クラブ内に何らかの問題が山積されているのでは無いか？様々な意見の中、本日の例会に参加して感じた事ですが

ベテランの皆様と若手の方々との意見や考えが違うのは世代、文化や経験の違いが有るので当然の事ですが、考えられるのは、10年以上も前からいつまでも平行線のままであった様に考えられ、その事自体が諸問題の中の原因の一つであると感じました。もう、これ以上の大きなメンバー減少は無いと思われまます。在籍されておられるメンバー同士のコミュニケーションも今だからこそスムーズだと思います。YMCAサービス、地域奉仕等含め、クラブで計画的に活動してはどうかという意見も有りました。もっと、楽しいクラブにしよう。もっと、親睦を図れる事をしよう。積極的な意見は、当然に多数出ました。過去は過去、今後が楽しみです。

私たち、プリンスクラブの強みの一つは、今まで京都部や西日本区に重要な役割を担う役員を輩出し、母体となるYMCAに長年の太いパイプを持つメンバーや全国の各ワイズメンの方々との親交を図っているメンバーが今もなお在籍している事です。意見の中に、計画的な奉仕活動をしてはどうかとのお話も有りました。これからも、プリンスクラブ独自の個性として、誠実で、活動的なメンバーが益々増える事を期待しております。



2009年度京都YMCA卒業リーダー祝会

2010年3月14日
岡西 博司



3月14日(日)、今年も恒例のリーダー卒業祝会に参加させて頂いた。今年の卒業生は、なんと30名である。アウトドアクラブ13名、キャンプ5名、わんぱくチャレンジクラブ10名、国際2名。合計30名。お祝いに駆けつけた、ワイズメン、リーダーOB、OG、現役リーダー達でマナホールは溢れんばかりである。

卒業リーダー達が一人ひとりが、この四年間の思い出や在校生に遺す言葉をスピーチしてくれました。ほとんど全員がYMCAでのこの経験できた事に感謝の気持ちを喋ってくれました。中には、涙しながら喋ってくれたリーダー

達もいました。僕の印象に残ったのは、「頑張れ」と「無理せずに」との違いは何なんだろう。それは、「笑顔」である。少々しんどくても、頑張れる時は笑顔を出せ、作り笑いでも良いから。どうしても笑顔が出せない時は、無理せずに休んだら良い。その事を理解して、リーダー活動を続けて欲しい。こんなスピーチを言ってくれたリーダーがいました。

本当に彼らの四年間の体験は、彼らを大きく成長させてくれているんだ。これこそが、YMCAがやらなければならない使命じゃないんだろうか。改めて感じた一時でした。又、昨年、一昨年に卒業したリーダー達が数多く駆けつけて、共に卒業リーダー達を祝っていた事に、本当に心が温かくなりました。リーダー達、大きく羽ばたいてくれる事を心より祈っています。



京都部メネットチャリティーイベントを終えて

2010年2月28日
京都部メネット事業主査 西村寛子



2月28日多くの参加者をお迎えしてチャリティーイベントは無事盛会のうちに終了いたしました。準備段階から当日の運営まで、京都プリンスクラブのメン、そしてとりわけメネットの方々の大きなサポートのおかげでスムーズに運ぶことが出来ましたことに心から感謝申し上げます。

京都部として、なにぶんこうしたイベント開催が初めての試みであった為、趣旨説明を繰り返し参加を呼びかけても、全体的なイメージや、その期待できる成果について、京都部各クラブのメン・メネットにご理解いただくことが難しく参加者を募ることに困難を覚えておりました。

しかし我がプリンスメネット陣がおよそ20名のゲストをお招き下さり応援して下さった事にどれほど救われたか知れません。その後押しのおかげで当日には総勢190人を上回る参加者をお招きしての開催となりました。いまだきの若者でありながら、しっかりしたスタンスを持って前向きに活動していらっしゃるお二人のゲストのパフォーマンスとトークを、皆さんそれなりにお楽しみいただけただご様子でした。

ウエスティン都ホテルのご理解でシャンパンが振舞われ、お食事もお満足いただけるものではなかったかと自負しています。(プリンスメネットと試食もしましたよ!) バザー会場も京都部各クラブからのご寄贈品の販売で賑わい多くの浄財を得ることが出来ました。会場内での抽選会とその後の献金の呼びかけにも多くの方々がご協力下さいました。おかげで京都部メネット事業として西日本区メネット事業に多くの献金をさせていただけそうです。

プリンスクラブの関連で活動支援としてお招きしたSORDも、活動理解を呼びかけるチャンスと支援金獲得のバザー参加とで成果を上げることが出来たと大変喜んでいらっしゃいました。難病患者の中岡様ご自身も会場にお越しで、支援者の子供たちと共にこのイベントを楽しんでいただけただご様子でした。

ご参加いただいた方々にお楽しみいただき、多くの浄財を生んでいただきましたことに何よりの喜びを感じつつ、心からの感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



リトセンチャリティーゴルフ

2010年3月21日
岡西 博司



3月21日(日)に恒例のチャリティーゴルフが、ウィングクラブの幹事で行われました。総勢54名のワイズメン・メネット・コメットの参加で、まるで貸し切り状態の雰囲気で行われました。今日の朝方まで雨がザンザ降り、どうなる事やらと思っておりましたが、普段の行いの良い人ばかりで、雨は上がりましたが、凄い黄砂の影響で、まるで雲の中でやっているような感じで、着ている物が浸みだらけになる始末。アウト・イン7組づつの同時進行で、無事終了しました。

結果は、やはりウィングクラブから多数参加しているせいもあるのでしょうか、景品はウィングのメンバーに8割以上行ったのでは。我クラブからは、残念ながら私一人の参加になり、少し寂しいかも。来年は、もっと多くのメンバーで参加し、優勝を取って次回の幹事になりたいものです。リトセンには、14万円ほどのチャリティーが出来たと報告がありました。

メンバー自己紹介コーナー

還暦雑感 西村博です



本年3月9日の誕生日をもって、めでたく私も還暦を迎えた。一昔前なら村の渡しの船頭さんは今年60のおじいさんであったが、近頃は寿命も延び年齢の7掛けが実態と思い、心も体もまだまだ40代のつもりで日々仕事に遊びに精を出している今日この頃ではある。

仕事とはいえば、業種の得意分野が今流の半導体、太陽光発電、液晶等の検査装置製造等であるが故に、ご他聞に漏れず厳しい状況に悪戦苦闘といったところだが、息子二人も仕事のあとを継ぎそれなりに努力を重ねてくれているので、大船とまでは行かずとも小船位には載った思いである。厳しい状況はみな同じ、いずれにしても親子共々前向きに明るい気持ちで仕事と向き合いがんば

っている。息子達のおかげで時間の自由が利くようになり、何やかやと嫁と二人出掛ける機会も増えてきた。最近では遅ればせながらゴルフにはまり、仕事をサボってはゴルフに出掛けている。「下手の横好き」とも「下手な鉄砲も数打ちゃ当たる」とも言うようにそれなりに進歩(?)しているようにも思うが・・・いずれ皆様お手合わせの程を。

4人の子供たちも独立し、それぞれに自分の道を見つけ社会人として責任を持って生活し始めていることが親として何より嬉しいことでもあり、健康に恵まれて妻と二人楽しい日々が送れることに感謝の気持ちでいっぱいである。ワイズメンとして、これからの人生、これまで通りポジティブに悔いの無い様、歩んで生きたい。



プリンスクラブの皆様こんにちは、ウェルクラブの中村隆司です。恒例の廣井杯ゴルフコンペに今回もご招待頂き喜んで参加させて頂きました。今回は一日中しとしと雨が降ったり止んだりの悪天候でコンディションはイマイチといった感じだったのですが、2組7名で楽しく元気にプレーさせて頂きました。私にとって廣井杯はとも相性が良く、以前に優勝させて頂いた事もあり馬も取らせて頂きましたので、今回も何か一つはもらって帰るつもりでハッキリと参加させて頂き、勿論馬も私から4口購入致しました。

この日は廣井さんと森さんと一緒にプレーさせて頂き、前半のハーフはまあまあスコアで53でしたので、このまま昼からも頑張ったらまた優勝・・・！？と思いきや昼食はノンアルコールで我慢をし、気合いを入れ直して後半のスタートを切ったのですが、私には珍しく昼からも調子が良くゆっくりアンダー50のペースで7ホールを終えたのですが、ラスト2ホールでなんと21も叩いてしまいあえなく撃沈致しました。しかしそれが功を奏したのか順位は3位で私の予想通り？しっかりと馬を取らせて頂きました。やった～！！しかもニアピンのおまけ付きです。私を買って頂けなかった方には誠に申し訳ございませんが自分を責めて頂き、次回は是非私を買って下さいね。

毎回楽しみにしているコンペですのでこれからもお誘い頂けますよう宜しくお願い致します。そしてもう少したくさんの人数の方がさらに楽しくなると思いますのでプリンスクラブの皆様も頑張ってくださいよ～！！



恒例の京都プリンスクラブファン委員会主催の「広井杯」ゴルフコンペが今年も開催されました。三重県伊賀市のジャパンクラシックカントリークラブで、雨の降る寒い（気候もスコアも）大会となりました。

参加者はゲストの福島辰治様、ウェルクラブ会長の中村隆司ワイズ、元プリンスのメンバーの高原憲天様にクラブの岡西、森、小野各ワイズに廣井と7名の参加でした。年々減る参加者にお世話いただいた委員会、委員長に申し訳ない気持ちになる。その昔、「ゴルフはしませんが、クラブのファンのために」と一日つきあってくれたメンバーもあったあの頃を思い出してしまっただけです。

前日からの雨もあってコンディションは決して良くない。一年ぶりのゴルフに「寒い、雨、空気が重い、フェアウェイは水たまり、バンカーは池……」スコアの悪さをこれらのせいとして、言い訳のネタには事欠かない一日となる。しかしOBは何のせいなのか、誰かのせいにしたくとも、こればかりは自分の腕でしかない。しかし、このワイズメンバーでプレーするゴルフは本当に楽しい。ワイワイ、ガヤガヤ、おたがい気兼ねなく、楽しくプレーが出来て、一日が楽しめて、ストレス発散にもなる。最近ではゴルフはしないとか、いろいろ事情があって参加者が年々減少して継続が困難な状況が見られますが、年に一度のこの行事、何とか、続けてゆきたいものです。上手、下手なんて関係なし、次回にはより多くのクラブメンバーが参加されますよう、心から願います。

ちなみに、今回は(65,70)という途中計算不能になるくらいのスコアでした。病み上がりの身には雨と寒さがこたえたと言い訳を考えてみたのですが……。

『人は転ぶと坂のせいにする。坂が無ければ石のせい。石が無ければ靴のせい。』しかしやっぱり、自分のせいなんですよ。



YMCAって何してるの？ どんな人が居るの？

京都YMCA事業部部长
久保田 展史



現在の私の仕事は青少年育成部門と生涯学習・健康教育の仕事です。

水泳やスポーツ教室などの体育活動や、キャンプ・スキー、アウトドア活動などの野外活動を子ども達に提供して、この活動を通して子どもたちが大きく成長してくれることをめざしています。活動を開始したころは先進的な運動であったこれらも、近年では多くの同様な活動をする企業や団体が増えてきています。現在YMCAに求められるのは活動の教育的な意義と言う内容の濃さと、病気を持つ子どもや発達障がい児など、なかなか公的な支援の手が届かない子どもたちにも成長のための幅広い体験をしていただくための力となることです。

野外活動は単なる遠足のプログラムでなく野外教育活動として展開しています。自然の大きさと、生命の大切さ、環境の大切さ、そして小集団で行動することで仲間の大切さや人としての在り方を学ぶことが出来るからです。

ここでこの教育活動の要となるのが指導者です。指導者はこの活動が教育であることを強く自覚して言葉や行動を選びながら子ども達と接してゆかねばなりません。そして表面だけではなく、自分自身が内面から変わって行かねばならないことに気づくのです。指導者の研修は指導法だけでなく、現代社会を見つめて青年がどう考えるべきであるか、日々どのように社会とかわかって行くべきなのかを考えてもらう研修などにも力を入れています。もちろんプログラムを進めてゆく中での安全確保のトレーニングも最重要事項です。さまざまなケースを想定してトレーニングを行い、救急法も行っています。

これらの研修を行って子ども達と現場での経験を積んで指導者は育ってゆきます。こういう彼らはYMCAを巣だつて社会に出てからも重要な役割をしてくれると信じています。つまりYMCAでは青少年育成の活動の中でその指導に携わる青年指導者を育ててゆくことにも大きな力を割いているのです。そのことがこれからの社会に大きく貢献してゆくと信じているのです。どうぞこれからも、青少年の育成に力を注ぐYMCAを応援いただきますようお願いいたします。

「一年を計るものは花を育て 十年を計るものは木を育て、百年を計るものは人を育てる」

YMCAの使命は、言うまでもなく「人を育てる」ことにあります。今春も子どもたちや青年たちが新たな参加者、生徒あるいはボランティアリーダーとして集ってきます。大きな可能性を持った一人ひとりが、それぞれの興味や関心によってYMCAにやってきます。三条本館、リトリートセンター、サバエキャンプ場など施設での場面をはじめ、チャリティーランや街頭募金といったプログラムの際に、ぜひ彼ら彼女たちの成長を見守り、おささえいただきますようお願いいたします。一人ひとりの笑顔と成長が、私たちの願いであり喜びであり、ワイズメンズクラブとYMCAの拠って立つものであります。

1. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申しあげます。おかげさまで今年も30名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきます。ありがとうございました。

2. 奉仕活動基金のご協力をお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、障がいを持つ人たちへの援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただきます。今年も下記のとおり行いますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

キャンペーン期間 2010年4月～6月

1口募金額 1,000円(何口でも結構です。)

納入方法 京都YMCA受付または、郵便振替で

3. 第6回 京都YMCA かもがわ チャリティーラン

参加者・スポンサー(協賛金)募集中!

チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

日時 5月16日(日)午前9時～午後3時 雨天決行場所 鴨川公園(特設コース:北大路橋～出雲路橋1週1.7km/北山橋～出町橋1週5.1km)

種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000円)/グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円)/一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生・生徒1名1,000円)/ペアラン(1チーム1,000円)

スポンサー募集 趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口10,000円(企業・団体)、5,000円(個人)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

4. リトリートセンター第11回夜桜フェスタ開催

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。ライトアップされた幻想的な八重桜の下で、様々なイベントを楽しみましょう。

とき 2010年4月18日(日)午後5時30分～8時

ところ 京都YMCAリトリートセンター

参加費 大人(中学生以上)2,000円・小学生1,000円・幼児無料 チケットは三条本館にて販売中

JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり事前に事務局にお申込みください。

5. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第38回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時: 4月17日(土) 午後7時～9時

場所: 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費: 300円/人(お茶代等)

老老介護について 少子高齢化社会になるにつれて、高齢者が高齢者を介護しないとイケない状況、いわゆる老老介護が増えています。高齢者が高齢者を介護するには、体力は衰え、既に定年退職して金銭的にも恵まれない人も多いと思います。又介護の疲れなどで、家族が共倒れする危険性など、社会問題になっています。老老介護をなくすることはできなくても、負担を軽減すること、その為に今何が必要なのか、何が一番問題なのか、このことについて一緒に考えていきましょう。又、簡単な介護の方法についても、実技を通して学びたいと思います。

講師 尼田明子(京都YMCA国際福祉専門学校 介護福祉学科主任教員・介護福祉士)

日時 4月10日(土)午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費: 300円/人(お茶代等)

申し込みは電話(075-231-4388)又は

vb@kyotoymca.or.jp

Happy Birthday

April

24日 毛利 隆志 ワイズ

28日 永濱 貴章 ワイズ

今月のスケジュール

4月

2日(金) 星空観望会 サバエキャンプ場
4日(日) ファミリー例会 なばなの里・長島温泉
18日(日) リトセン夜桜フェスタ リトセン
21日(水) 第二例会 グランドプリンスH
28日(水) 役員会 京都YMCA

役員会報告

<承認された議案>

ファミリー例会メンバー候補登録費 4,500円
保ワイズ広義会員申請の件(4月1日～6月末)
星空観望会でのサバエキャンプ場利用料をニコニコより拠出